

## 主な内容

### \*12月定例会

本会議の質問……………2・3面  
 常任委員会委員長報告要旨……………3面  
 主な審議の結果……………4面

### \*委員会活動

常任委員会の動き……………4面  
 議員定数問題等調査特別委員会の動き…4面  
 人口減少対策調査特別委員会の動き…4面

### \*その他

フィリピン・ベンゲット州を記念訪問…4面

### \*お知らせ

第10回高校生フォトコンテスト  
 入賞作品決定!…1面  
 県議会の構成が変わりました……………4面  
 2月定例会開催予定ほか……………4面

# こうち 県議会 だより

## 第108号

令和8年2月22日発行



高知県イメージキャラクター  
「くろしおくん」

こうち県議会だよりは定例会(2月・6月・9月・12月)に合わせて年4回発行

編集・発行  
高知県議会

〒780-8570 高知市丸ノ内1-2-20  
TEL 088-823-9536 / FAX 088-872-8411  
E-mail 210101@ken.pref.kochi.lg.jp  
https://gikai.pref.kochi.lg.jp/

## 第10回高校生フォトコンテスト入賞作品決定!



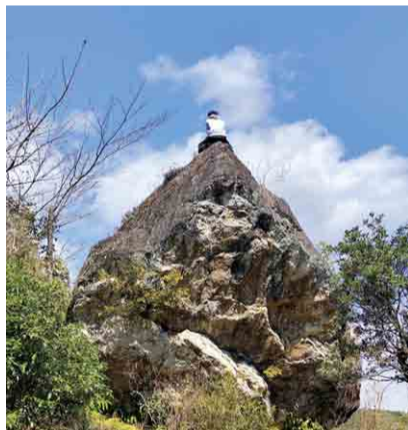
議長賞「毛嵐の朝」土佐高校3年 陰山 悠翔



副議長賞「光の道」高知高校1年 本田 日菜子



佳作「おかえり」  
清水高校3年 小島 瑞葵



佳作「牧野さんも見れた空」  
高知追手前高校2年 西添 英良



佳作「ばあちゃんとおくちゃん」  
高知東高校3年 種田 小春

高知県議会では、若い世代の皆さんに政治や議会への関心を持っていただくきっかけづくりとして、県内高校生等を対象としたフォトコンテストを実施し、今年度は「私の見つけた高知の魅力」をテーマに13校27名から52点のご応募をいただきました。

応募全作品を2月定例会の閉会日(3月24日予定)まで議事堂1階に展示中です。お気軽にお立ち寄りください。

## 12月定例会の概要

会期 12月5日～12月19日(15日間)

### ●開会日(12月5日)

#### ■知事提案説明

「県民との対話を通じて、「共感と前進」の県政を運営する」

濱田知事は初めに、「県政の課題に正面から向き合い解決していくためには、県民の声に耳を傾け、施策の磨き上げを図っていくことが欠かせない」と述べた上で、「濱田が参りました」での現場視察等、対話を通じて県政に対する「共感を得ると同時に、得た意見を政策立案に生かし、着実に「前進」していくことを県政運営の基本姿勢とする」と述べました。

次に、人口減少対策について、「マスタープランとなる「高知県元気な未来創造戦略」について、令和8年度は大きく4つの方向性で施策を強化する」と述べた上で、「高付加価値型経営への転換支援」、「多様な人材が活躍できる環境の実現」、「若者に選ばれる高知を目指した移住・定住対策の強化」、「ニーズに応じた出会いの機会の拡充とライフデザイン支援」について述べました。

次に、目指すべき3つの高知県像のうち、「いきいきと仕事ができる高知」について、「令和8年に開催する「よさこい高知文化祭2026」に向けては、神楽など文化祭で披露する地域ならではの文化や、関連する観光施設、体験プログラムなどを盛り込んだ商品づくりを促進する。加えて、商品を積極的に情報発信することと、誘客の拡大、県内各地への周遊につなげる」と述べた上で、「県内各地の伝統芸能などを体感いただくだけでなく、おきやくなどの食文化やよさこい鳴子踊り、日曜市などの高知独自の文化も紹介していきたい。文化祭の終了後も、本県に何度も来ていただけるように取り組む」と述べました。続いて、「いきいきと生活ができる高知」、「安全・安心な高知」に向けた取組について述べ、最後に今回提案した議案31件について説明しました。

#### ■決算特別委員会審査報告

決算特別委員会の加藤漢委員長が、令和6年度会計決算の審査結果を報告し、採決の結果、未処分利益剰余金の処分に関する議案2件を可決し、決算議案23件を認定しました。

### ●一般質問(12月10日～12日)

#### ■補正予算の追加提出(12月10日)

濱田知事は、「国の経済対策に呼応して、特に速やかな対応が必要となる事業を中心に、総額29.4億円余りの予算の補正並びに53億円余りの債務負担行為の追加及び変更を含む一般会計補正予算等議案4件を提案するものである」と説明しました。

#### ■人口減少対策などについて論議

7名の議員が、人口減少対策や新県民体育館の整備、中山間地域政策などについて質問しました。

### ●常任委員会審査(12月15日～17日)

審査の結果、付託された議案34件を可決、1件を承認しました。また、請願4件を不採択としました。

### ●閉会日(12月19日)

#### ■一般会計補正予算などを可決

知事提出議案34件を原案どおり可決し、1件を承認しました。また、請願4件については不採択とし、追加提出された人事議案3件に同意しました。議員から提出された意見書議案8件のうち6件を原案どおり可決し、2件を否決しました。



# 12月定例会本会議の質問

質問者(質問順)	12月10日	12月11日	12月12日
	横山 文人 塚地 佐智	武石 利彦 竹内 健造 はた 愛	金岡 佳時 今城 誠司



参与(官民連携推進監)の任用

塚地 佐智 (日本共産党)

**問** 大石宗氏の参与起用に  
ついては、政治的中立性に懸  
念がある。勤務時間内の政  
治活動や、地位を利用した選  
挙運動を行わないことで担  
保することのだが、線引き  
は困難であり、任用はすべ  
きでなかったと思うが、認識を  
聞く。

## インフラ関連予算の 確保と整備の加速化

**問** 安全安心な高知の実現  
には、インフラ関連予算の恒  
久的な確保が欠かせない。国  
土強靱化実施中期計画に基  
づく対策をはじめ、予算の確  
保と整備の加速化にどう取  
り組むのか。

**答** 土木部長 今回の補正予  
算では国の経済対策を活用した  
インフラ整備に285億円を計  
上した。このうち、中期計画に係  
る事業費は、昨年度の1.2倍と  
なる約274億円を追加提出し  
ており、四国8の字ネットワーク  
や浦戸湾の三重防護事業の整備  
に加え、各種インフラの耐震対策  
の推進など防災・減災対策を全  
力で進める。  
計画期間に必要な予算が着  
実に配分されるよう、国に粘り  
強く働きかけていく。

## 中小・小規模事業者に 対する支援

**問** 物価高騰や最低賃金引  
上げに伴う大きな影響が予  
想されるが、実態把握と聞き  
取りを行い、必要な対策を打  
ち出すべきではないか。

**答** 商工労働部長 中小企  
業向けの世論調査等を基に、  
商工会や商工会議所と連携し、  
経験や勘に頼った経営から、客  
観的なデータ分析による経営  
への転換を促進するなど、事  
業者の稼ぐ力を後押ししてい  
る。  
また、地域の金融機関とも  
連携し、様々な支援の活用を

向け、周知や伴走支援に取り  
組んでいる。関係団体と連携  
を密にし、現場のニーズを聞き  
ながら、課題解決に向けたメ  
ニューを検討していく。



武石 利彦 (一燈立志の会)

## 高知モデルの若者就労支援

**問** 中山間地域の実情に即  
した高知モデルの若者就労支  
援を今後どう進めるのか、所  
見を聞く。

**答** 知事 農業分野では、学  
びや生活等の情報を産地提案  
書として発信し、産地全体で  
新規参入者を受け入れる取  
組が行われている。将来の見通  
しに不安を感じる相談者もい  
るため、スマート農業の導入事  
例などを整理し、稼げる農業  
モデルを提示していく。  
林業分野では、林業大学校  
で技術の習得などを支援して  
いるが、所得水準が他産業に  
比べて低いという課題がある。  
生産性の向上や、利益を従業  
員に還元する仕組みづくりを  
行い、農林業が選ばれる職業  
となるよう力を尽くす。

## 地域社会全体で子供と 家庭を支える体制づくり

**問** 子育て世代の定住や移  
住を妨げる要因に対し、子供  
と家庭を支える体制をどう  
強化していくのか、所見を聞  
く。

**答** 知事 拠点づくりとして、  
子育て家庭のサポートや関係

## 県内企業の育成による 地域経済の循環

**問** 県内企業が参入しにく  
い分野に対し、戦略的な産業  
育成を行うとともに、取組の  
効果を検証し、地域経済を  
循環させることが重要と考  
えるが、所見を聞く。

**答** 産業振興推進部長 公  
共調達における地消地産推進  
戦略を策定し、県内発注の拡  
大に向けた事業者の育成に取  
り組んでいる。  
具体的には、入札等の参加  
者の限定や、生成AIを活用  
したシステム開発のノウハウの取  
得に向けた支援などを進める。  
効果検証の指標として、公  
共調達における県内調達率を  
目標に設定し、進捗管理と契  
約状況の分析により、施策の  
強化も検討する。



竹内 健造 (自由民主党)

## 外国人材の定着に 向けた方針

**問** 令和9年度施行の育成  
就労制度により、地方で育て  
た外国人材が、賃金や環境  
条件のよい都市部に流出す  
ることが懸念される。定着に  
向けてどのような方針で進  
めるのか。

**答** 文化生活部長 外国人  
材活躍・多文化共生推進庁内  
会議を設置し、部局横断で取  
組の検討を進める。  
仕事面では、就労環境の整  
備を行う事業者への支援など  
環境整備を検討し、生活面で  
は、出張相談会の実施など相  
談機能の強化に加え、社会保  
険税・生活ルール等の情報を  
まとめた冊子のひな形の作成  
などを検討している。  
これらを令和7年度末に策  
定予定の多文化共生推進プラ  
ン(仮称)に盛り込み、環境を  
整える。



はた 愛 (日本共産党)

## 技能実習生の講習施設 の整備

**問** 須崎市が日本語教育施  
設を設置する方向で議論し  
ているが、今後、施設整備の  
支援にどう取り組むのか。

**答** 商工労働部長 技能実  
習生の受入れ窓口となる県内  
の監理団体24のうち16が県外  
の講習施設を利用しており、  
本県の方言や生活ルールなど  
を学ぶ機会がないことが、県内  
事業者が技能実習生を受け  
入れる際の課題になっている。

解決に向けては、知識を学ぶ  
施設が必要だ。  
監理団体が共同で利用でき  
る施設の在り方について、事業  
者や団体などのニーズも聞き  
ながら、今後の支援方法を検  
討していく。

## 就農支援策の見直し

**問** 県は令和6年に、独自に  
実施してきた50歳から64歳の  
就農支援策を廃止したが、年  
齢に関係なく就農希望者を支  
える仕組みが必要だ。高知市  
の農業施策等に関する意見書  
でも国・県の補助事業の年齢  
要件見直しが求められている。  
今後どう対応するのか。

**答** 農業振興部長 限られた  
予算の中、若者の確保対策に重  
点化するという観点から、現在  
のスキームを継続する方向だ。  
一方、定年延長などの影響で  
50・60代の親元就農の減少率が  
大きく、シニア世代の就農に向  
けて効果的な取組を検討する  
必要がある。

県の施策に関する市町村へ  
の要望については情報共有を図  
り、関係機関や農業者の意見  
も聞きながら施策の強化や見  
直しを図っていく。



金岡 佳時 (自由民主党)

## 早明浦水会議の創設

**問** 環境問題、気候変動によ  
る洪水濁水問題等に対し、こ

## 高市総理の責任ある積極財政への 評価と国の経済対策の受け止め



横山 文人 (自由民主党)

**問** 総理が掲げる責任ある  
積極財政への評価と国の経  
済対策の受け止めを聞く。

**答** 知事 物価上昇を上回  
る賃上げの実現、地域産業ク  
ラスタの形成といった取組に  
より、必要な分野に戦略的な  
積極投資が行われ、地域経済  
の成長などの促進につながるこ  
とを期待している。

また、今回の経済対策には、  
本県が強く訴えてきた内容が  
数多く反映されており、高く  
評価している。物価高への影響  
緩和や高付加価値型経営への  
転換などの効果が早期に発現  
するように努める。

れまで以上に圏域の利害を  
超えて一つになることが必要  
だ。四国の水問題を議論する  
場、仮称早明浦水会議の創設  
を提案するが、所見を聞く。

**答 知事** 四国の水問題に対  
し、関係者が認識を共有した上  
で対処することは大変重要だ。  
また、早明浦ダム建設の歴史  
などについて、語り継いでいくこ  
とも非常に大切だと考える。

具体的にどういう形で議論  
の場を作るのか、既存の会議な  
どの活用も含め、関係機関とも  
相談の上、設置に向けて検討し  
ていきたい。

### 日本の教育を変えて いくような教育の実現

**問** 子供たちの多様な要望  
に応えるため、高校卒業の修  
得単位数を下限の74単位と  
し、学びたいことは部活動で  
学ぶことを提案する。指導者  
として地域の方々の力を借り  
るなどし、希望をかなえなが  
ら社会に貢献できる人材を育  
てる教育を実現してほしい。  
本県から日本の教育を変  
えていくことについて、所見  
を聞く。

**答 教育長** 本県では、進路  
希望を実現するため、全国に先  
駆けて遠隔教育に取り組むな  
ど、規制の枠にとらわれず、新た  
な道を切り開いてきた。

提案には、直ちに実行に移す  
ことが困難な項目もあるが、思  
いに深く共感する。特に、伝統  
文化や産業への学習などにおい  
て、地域の方々に協力いただくこ  
とは、積極的に拡充したい。



今城 誠司  
(自由民主党)

### SNSを利用した 名誉毀損・誹謗中傷等への対応

**問** 社会環境の変化を受け、  
SNSを悪用した誹謗中傷・名  
誉毀損事案への対応強化が求  
められるが、事案に対してど  
のように対応しているのか。

**答 警察本部長** 最寄りの警  
察署への相談のほか、警察総合相  
談電話#9110やオンライン  
でも相談を受理する体制を取っ  
ている。

書き込みの削除を要望される  
場合には削除方法に関する助言  
を行い、相手への処罰を望む場合  
には法と証拠に基づき適正に捜  
査している。相談された方の心情  
に寄り添いながら、対応していく。

### 幡多地域における 発達障害児の療育体制

**問** 発達障害児の療育を培っ  
てきた幡多地域の事業所が閉  
所の方針を示し、保護者や関係  
機関に不安が広がっている。必  
要な療育体制をどのように維  
持し、将来にわたって確保して  
いくのか。

**答 子ども福祉政策部長**  
職員の確保や定着の観点から、  
ICT導入への補助、処遇改善  
加算の取得促進や遠方の利用  
者を送迎する事業所に対する  
県独自の加算なども行ってきた。

引き続き、利用者が安心して  
地域でサービスを受けられるよ  
うに取り組み、施設の閉鎖など  
が生じた場合は、市町村が事業  
所と行う利用者の受入れ調整  
を支援していく。

# 12月定例会 常任委員会 委員長報告 要旨

## 総務委員会

### ■職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例等の一部を改正する条例議案について

執行部から、職員一人一人が能力を発揮できる環境の整備、ワークライフ・バランスの実現など、公務能率の向上や、職員の希望や事情に応じた働き方を可能とし、多様な人材の確保につなげるため、フレックスタイム制を導入するものである。職員の勤務時間が様々になることも想定されるため、各所属における服務管理に混乱を招かないよう配慮が必要なことから、対象職員は段階的に導入したいと説明があった。

委員から、育児をしている人々を優先的に導入し、いずれ全職員が対象になれば、現場の混乱は生じないか。対応等はできるのかと質問があった。

それに対し執行部からは、現在も、勤務時間の7時間45分は固定だが、時間帯をずらす働き方ができる早出遅出勤務制度がある。現状、1月当たりで約400人が取得したりと、柔軟な働き方もされてきているため、徐々に広がり、服務管理もしっかりできるものになるのではないかと考えていると答弁があった。

別の委員から、制度が進んでいくと、勤務時間の管理が大変になってくると思うが、どういった形で、誰が管理をしていくのかと質問があった。

それに対し執行部からは、県庁の勤務管理は、勤務実績管理システムで行っているが、システムがフレックスタイムに対応できていない。まずは、育児または介護を行う職員に制度を導入する中で、来年度システムの改修を行い、令和9年4月の全職員が対象になるタイミングで、システムで管理できるようにと考えていると答弁があった。

## 危機管理文化厚生委員会

### ■消防広域化の取り組み状況について

執行部から、消防広域化の取り組み状況について、消防広域化の進め方など、9月定例会報告時以降の新たな内容について説明があった。

委員から、各消防本部の職員の思いが議論の中に反映されているのかという点では、議論そのものが不十分だと思っている。現場では、これまで築き上げてきたものがある中、仕組みが変わることに、疑問や戸惑い、課題意識も持っており、しっかり議論をしないと、現場が混乱することとなる。ひいては県民の安全・安心に関わることから、思いをくみ上げきめ細やかな議論をしていく姿勢が大事だと思うかと質問があった。

それに対し執行部からは、引き続き、専門部会等で、代表者から話を聞くだけでなく、実務者によるワーキンググループで、現場の職員の声も丁寧に聞きながら、きめ細やかに議論を進めていくと答弁があった。

別の委員から、消防の広域化については賛成である。市町村からは、広域化に関し、おおむね理解をいただいているとのことだが、協議を進める中で、今後も、新たな課題が出て、前向きに取り組んでいただきたいと意見があった。

さらに別の委員から、任意協議会を設置し、きめ細かに議論を行うこととし、1年期限を延ばす方針が出された。期限ありきの議論について、難色を示す意見もある中、南海トラフ地震の発生が切迫する、今この時をもって、取り組むことも十分理解できる。いずれにしても、この件については、住民の意見をしっかりと聞きながら、納得が得られる方向に、取り組んでほしいと意見があった。

## 商工農林水産委員会

### ■造林事業費補助金について

執行部から、森林の公益的機能の発揮等を図るため、国の補正予算を活用して、再造林などの森林整備を支援するものであると説明があった。

委員から、補正予算による再造林面積はどの程度を予定しているのか。また、再造林率の向上は期待できるのかと質問があった。

それに対し執行部からは、再造林面積は230ヘクタール程度を計画している。また、必要な予算の確保により再造林面積が増加している中で、伐採面積は少し落ちていることから、再造林率は徐々に向上していると答弁があった。

### ■高知競馬の利益配分金について

執行部から、高知競馬の令和6年度の売上げは約999億円と過去最高を記録したところであるが、本年度もその勢いは継続し、年度当初から好調に推移している。今回、高知県競馬組合及び高知市との協議を重ね、現在の配分率及び算定方法を改定する、新たな協定書を締結することとしたと説明があった。

委員から、今後の高知競馬の売上げについては、どのような見通しを持っているのかと質問があった。

それに対し執行部からは、楽観視はできないが、売上げ1,000億円を確保していきたいと考えていると答弁があった。

別の委員から、競馬法では、収益の使途が畜産の振興や社会福祉の増進などに努めることとされているが、利益配分金の使途について検討する体制はあるのかと質問があった。

それに対し執行部からは、本県では利益配分金を一般財源として受け入れている。一方で畜産の振興などに必要な予算については、引き続きしっかりと提案していきたいと答弁があった。

## 産業振興土木委員会

### ■客船受入等業務委託料について

執行部から、高知市中心市街地での外国クルーズ船乗客の受け入れ態勢の充実を図り、高知旅の満足度を高めることで、さらなる誘致や外国人観光客のリピーター確保につなげるために実施するものであると説明があった。

委員から、委託先が実施するアンケート調査について、県はどのように活用していくのかと質問があった。

それに対し執行部からは、アンケート調査では、多言語での案内表示などの要望をいただいております。今後さらに満足度を高め、よりよい環境を整備していくために、事業者向けのセミナーを継続して実施していきたいと答弁があった。

別の委員から、満足度を高めるということでは、以前はキャッシュレス決済ができる施設が少ないという課題があったが、最近はどういった状況かと質問があった。

それに対し執行部からは、県内の主要な観光施設で飲食や物販を行っている205施設のうち、57%の116施設においてキャッシュレス決済が導入されている、これに加え、コンビニ等でお金の引き出しについても併せて案内していると答弁があった。



## 常任委員会の動き

### ■総務委員会

12月15日、17日（12月定例会中）  
付託された16件の議案を審査し、いずれも原案どおり可決または承認。  
請願2件、意見書案2件を審査。

### ■危機管理文化厚生委員会

12月15日、17日（12月定例会中）  
付託された16件の議案を審査し、いずれも原案どおり可決。  
請願2件、意見書案5件を審査。

### ■商工農林水産委員会

12月15日、17日（12月定例会中）  
付託された5件の議案を審査し、いずれも原案どおり可決。  
意見書案2件を審査。

### ■産業振興土木委員会

12月15日、17日（12月定例会中）  
付託された9件の議案を審査し、いずれも原案どおり可決。

## 12月定例会 主な審議の結果

### ●可決された議案(69議案) ※同意、承認、認定を含む

#### 知事提出議案(63議案)

##### 予算議案(16議案)

・令和7年度高知県一般会計補正予算 ほか 15議案

##### 条例議案(13議案)

・高知県職員の修学部分休業に関する条例議案 ほか 12議案

##### 人事議案(3議案)

・高知県土地利用審査会の委員の任命についての同意議案 ほか 2議案

##### 決算議案(23議案)

・令和6年度高知県一般会計歳入歳出決算 ほか 22議案

##### その他議案(8議案)

・令和8年度当せん金付証券の発売総額に関する議案 ほか 7議案

#### 議員提出議案(6議案)

##### 意見書議案(6議案)

・巨大災害発生に対する対応体制整備を求める意見書議案  
・危機的状況にある自治体病院の存続に向けた財政支援を求める意見書議案

・筋痛性脳脊髄炎／慢性疲労症候群の研究促進を求める意見書議案  
・森林吸収源対策及び林業・木材産業の活性化対策の推進を求める意見書議案  
・太陽光発電設備のリサイクル推進及び適正な廃棄処理に関する意見書議案  
・皇室の伝統に基づく安定的皇位継承の国会論議促進を求める意見書議案

### ●否決された議案(2議案)

#### 議員提出議案(2議案)

##### 意見書議案(2議案)

・地方の民意切捨てにつながる衆議院議員定数削減に反対する意見書議案  
・介護保険制度の後退につながる見直しの中止を求める意見書議案

### ●不採択とされた請願(4件)

・すべての子どもにゆきとどいた教育をすすめるための請願について(請第1-1号、1-2号)  
・教育予算を増額し、すべての子どもたちにゆきとどいた教育を求める私学助成の請願について(請第2-1号、2-2号)

※各議員の賛否の状況は、県議会のホームページでご確認いただけます。



## 2月定例会開催予定

2月24日(火)	開会	【中継】
3月3日(火)	質疑並びに一般質問	【中継】
4日(水)	〃	【中継】
5日(木)	〃	【中継】
6日(金)	〃	【中継】
10日(火)	〃 (一問一答)	【中継】
11日(水)	〃 (一問一答)	【中継】
12日(木)	常任委員会	
13日(金)	〃	
16日(月)	〃	
17日(火)	〃	
18日(水)	〃	
19日(木)	〃	
24日(火)	閉会	【中継】

※日程は変更になる場合があります。  
※本会議、委員会の開催予定及び傍聴の方法は県議会のホームページにも掲載しています。

【問い合わせ】 議事課 議事記録班 088-823-9534

## 議会中継

### ケーブルテレビ中継

- 高知ケーブルテレビ 418ch  
(3/3・10・11は414ch、3/24は416ch)
- 西南地域ネットワーク 111ch
- よさこいケーブルネット 851ch
- 香南ケーブルテレビ 112ch
- 四万十ケーブルテレビ 122ch
- むろと光サービス 111ch
- 黒潮町ケーブルテレビ 11ch

※一部録画中継となる場合があります。

### インターネット中継

※3営業日後に録画映像も公開しています。



【問い合わせ】 議事課 企画広報班 088-823-9536

## 県議会の構成が変わりました

- 令和7年12月4日付けで、橋本敏男議員が辞職しました。
- 令和7年12月19日付けで、坂本茂雄議員が議員定数問題等調査特別委員に選任されました。
- 令和8年1月19日付けで、田所裕介議員が辞職しました。
- 令和8年1月29日付けで、坂本茂雄議員が議会運営委員に、岡田竜平議員が人口減少対策調査特別委員にそれぞれ選任されました。
- 令和8年2月8日に高知市選挙区の議員補欠選挙が行われました。

### 新議員の紹介

欠員が生じていた土佐清水市選挙区において、令和8年1月18日に行われた補欠選挙の結果、岡崎哲也さんが新しく県議会議員となりました。



#### 岡崎 哲也

(おかざき てつや)

会派名

県民の会

所属する常任委員会

危機管理

文化厚生委員会

### 議員定数問題等調査特別委員会の動き

12月4日 議員定数問題等に関する課題等について協議。

### 人口減少対策調査特別委員会の動き

12月19日 今後の方向性等について協議。

1月20日 報告書の構成等について協議。

## フィリピン・ベンゲット州を記念訪問

高知県・ベンゲット州姉妹県州協定提携50周年を記念し、三石議長、田中議員、はた議員の3名が濱田知事とともに、現地を訪問しました。

滞在中は、50年前に締結された協定の再宣言や、交流を記念して開設された「さくらパーク」に新たな桜の苗木を植樹するなど、両県州のより豊かな関係構築に向け絆を深めました。



50周年を記念する共同声明に調印